

(株)新日本環境品質研究所

“サステナビリティ” 連続セミナーのご案内



ここ数年、日本企業の多くがCSRへの取組みを加速させています。その背景としてCSR活動やその活動報告に関する規格、制度、要求が増えていることがあげられます。このことは持続可能（サステナブル）な社会の実現を目指すうえで、企業の果たすべき役割・期待が益々高まっていることに他なりません。

新日本環境品質研究所は、情報開示プロフェッションである新日本監査法人のCSR・環境担当グループとして、企業のサステナビリティに関わる取組み及び情報開示の効率性、有効性をバックアップし、ひいては開示された情報が適正に評価される場の醸成に積極的に関わっていきたく考え日々活動しております。

今回のサステナビリティ連続セミナーは企業の皆様とのコミュニケーション、我々の培った知見の共有を目的として定期的なご報告を行うものです。ご多忙中とは存じますが是非奮ってご参加ください。

連続セミナーテーマ（予定）

回	月日	テーマ	内容
連続セミナー告知編			
プレ	2月	サステナビリティの潮流	CSRの潮流 “サステナビリティ”について ISO26000(CSR規格)の最新情報 GRIガイドライン2006年版とISO14063(環境コミュニケーション規格)の概要
①コミュニケーション編			
1	4月	サステナビリティコミュニケーション	サステナビリティ・コミュニケーションの社会的背景 サステナビリティ報告書の潮流 サステナビリティ・コミュニケーションの実践
②マネジメント(内部統制)編			
2	6月	サステナビリティマネジメント	サステナビリティ・マネジメントの必要性 サステナビリティ・マネジメントにおける内部統制 CSR情報の信頼性の潮流
③コントロール(管理活動)編			
3	8月	サステナビリティコントロール	地球温暖化対策・エネルギー管理の進化 環境法令コンプライアンス対応の進め方 廃棄物リスクの動向と管理
④インデックス(会計・効率指標)編			
4	10月	サステナビリティインデックス	財務会計と環境会計 環境管理会計 EEBE 環境効率性指標
連続セミナー総括編			
5	12月	サステナビリティの進化	サステナビリティ要件の進化 前4回のとりまとめ 2007年版 環境・CSR報告書の動向

※上記のセミナーテーマは、アンケート結果などの状況により変更する場合があります。

“サステナビリティ” 連続セミナー第3回

日時： 2007年8月21日（火）13：00～15：40（12：45受付開始）
 場所： 新日本監査法人 本部事務所 日比谷国際ビル8階 第1会議室A
 地図 <http://www.shinnihon.or.jp/corporate/network.html>

プログラム

第3回は「サステナビリティコントロール」をテーマに以下の話題につき詳しく解説いたします。

13:00～13:50	40分	「地球温暖化対策・エネルギー管理の進化 ～ 求められる排出量管理体制のあり方を中心として ～」（仮題） 質疑応答 新日本環境品質研究所 主任研究員 篠塚 英一
	10分	（休憩）
13:50～14:40	40分	「環境法令コンプライアンス対応の進め方 ～ 効果的な実務手順のケーススタディ ～」（仮題） 質疑応答 新日本環境品質研究所 主任研究員 武田 彰夫
	10分	（休憩）
14:40～15:40	60分	「廃棄物リスクの動向と管理 ～ 廃棄物リスク管理の必要性とリスク低減のためのポイント ～」（仮題） 新日本監査法人 環境監査部 マネージャー 荻巣 和紀 質疑応答

申込方法

- 下記「申込フォーム」に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込ください。
 受付確認のためFAXで返信をいたします。

参加費

3,000円

申込フォーム

※定員になり次第、御申込を終了とさせていただきます。予めご了承ください。

FAX 03-3503-2818

新日本監査法人 環境監査部 / 株式会社新日本環境品質研究所
 ■担当 西田 ■連絡先 TEL 03-3503-1028

フリガナ
御社名

フリガナ
お名前

部署名

お役職

〒

ご住所

必ずご記入ください

お電話

FAX

e-mailアドレス

※本申込みによってお知らせいただいた皆様の個人情報につきましては、新日本監査法人および(株)新日本環境品質研究所が、当セミナーの運営に関わる事務に利用させていただくほか、今後のセミナー等のご案内を送付させていただく目的以外には使用致しません。